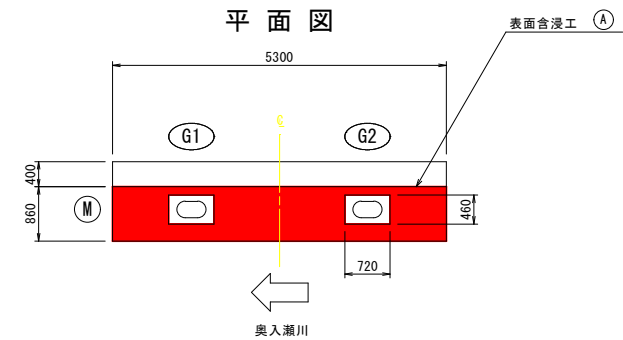


令和8年度 神明橋橋梁補修工事			
工事番号		第 8 号	
路線 河川 名		阿光坊線	
施工箇所		おいらせ町阿光坊地内	
下部工表面処理工図 (その7)		縮尺	S=1:60
図面番号		業中	
おいらせ町			
青 森 県			

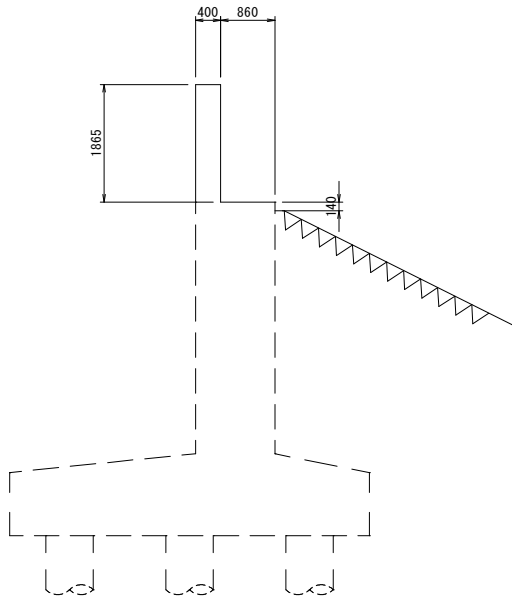


神明橋 下部工表面処理工図（その7）

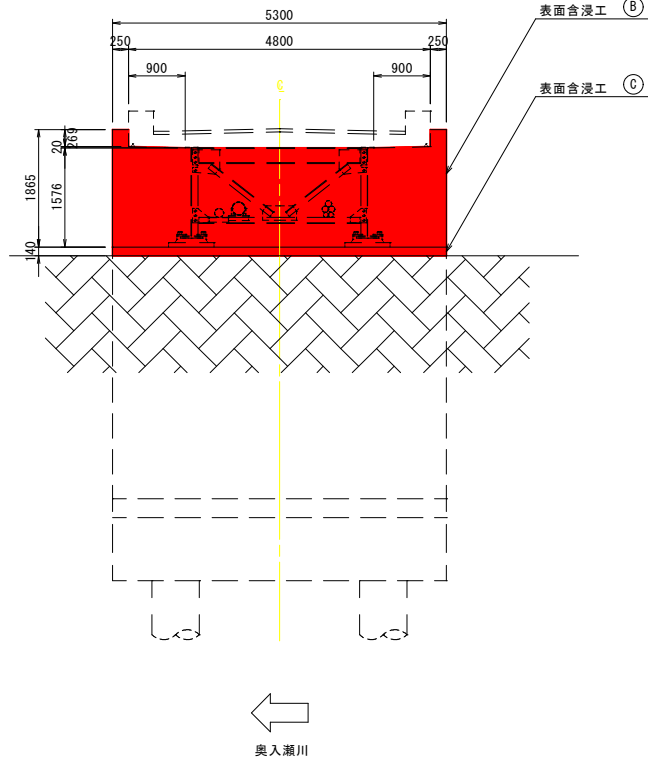
A2橋台



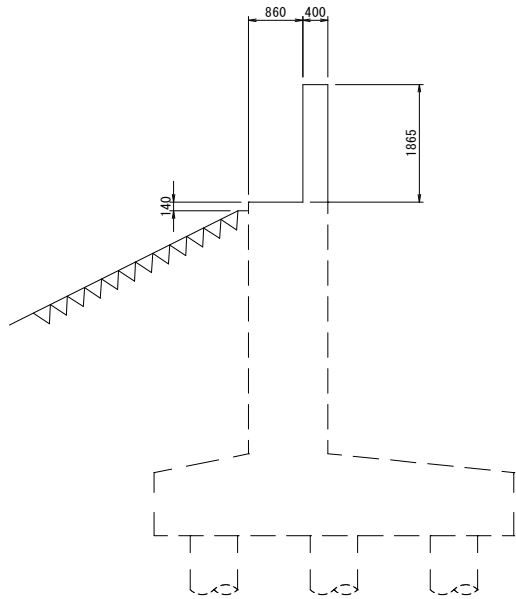
(左側面)



(正面)

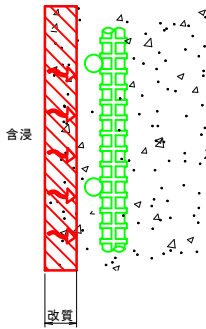
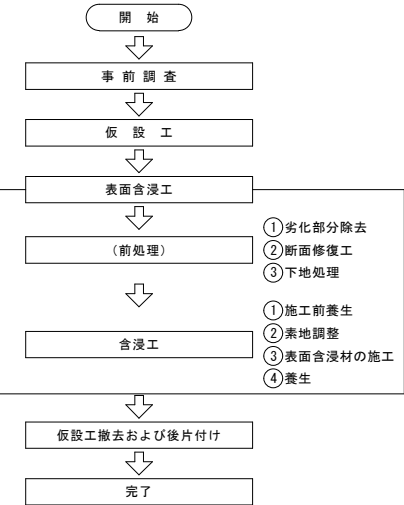


(右側面)



表面含浸工

表面含浸工の施工フロー



材 料 表

工 種	仕 様
表面含浸工	高分子系 (標準使用量 0.25kg/m ²)

高分子系表面含浸材の施工仕様例

工 程	標準使用量 (kg/m ²)	施工方法	塗重ねの工程間隔
素地調整・下地処理	別途	—	—
下地の確認および清掃	別途	—	
1 高分子系表面含浸材	0.25	吹付け、ローラー刷毛塗り	6～12時間以上

表面含浸工 数量表

工 法	箇 所	寸 法	数 量
表面含浸工	A2橋台	① 0.860×5.300-0.460×0.720×2	= 3.896 m ²
		② 1.576×5.300+0.020×0.900/2×2+(0.020+0.269)×0.250×2	= 8.515 m ²
		③ 0.140×5.300	= 0.742 m ²
		合計	= 13.2 m ²

注記

- 本図面は、既存資料および現地調査をもとに作成した図面である。
- 補修工事に当り、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
- 表面含浸工を適応する場合、無色透明であり実施可否がコンクリート表面で判断できない為、「補修履歴板」等で実施日を明示すること。
- 高分子系表面含浸材の標準使用量や塗布日数は、施工部位、コンクリートの状態、材料の性状等によって決めること。